

## 本年度の重点課題を踏まえた重点目標の中間報告（評価指標における達成度）

重点課題1		安心・安全な学校づくり	
	重点目標	評価指標	評価指標による達成度
環境課	地域や行政と連携した避難訓練を実施し、防災対策の充実を図る。	①大規模災害に備えて地域と合同の避難訓練を年間1回以上実施する。	①9月1日防災の日に美波町一斉での避難訓練を実施することができた。
		②地震・火災・土砂災害の防災訓練を年4回以上実施し、事後アンケートの結果を元に見直しが必要な箇所についてはその都度話し合い、改善した結果を全体に周知する。	②11月2日現在3回避難訓練を実施した。事後アンケート結果から課会等で話し合い、職員会議でその都度全体に周知している。
		③防災について生徒が体験できる活動（消火訓練、起震車体験、防災食の調理試食等）を年間2回以上計画し実施する。	③11月に児童生徒及び教員で消防士の指導を受けて、消火訓練を実施した。1月に起震車体験を計画中。

重点課題2		多様性を育むキャリア教育の展開	
	重点目標	評価指標	評価指標による達成度
小 中 学 部	学習活動や作業課題を通して、個々のできることを積み上げる(ボトムアップ)と共に、将来に向けて必要なスキルを身につけるため(トップダウン)の指導を充実させる。	①個別の教育支援計画(支援計画表)、及び個別の指導計画(本人の夢・保護者の願い・卒業時まで身に付けてほしい力)の将来に向けてのニーズを把握し、それに基づいた年間目標(まなぶ・はたらく)を各児童生徒につき5個以上設定する。	①個別の教育支援計画及び個別の指導計画の将来に向けてのニーズをに基づいた年間目標(まなぶ・はたらく)を各児童生徒につき5個～17個設定された。
		②個別の教育支援計画、及び個別の指導計画の将来に向けてのニーズに基づく目標(上記①)が「達成」または「ほぼ達成」となる 目標の割合が学部全体で70%以上となる。	②前期の段階では、①の年間目標の達成率は、65%であった。

高等部	卒業後の生活を見据え、基本的なコミュニケーションスキル（あいさつ・返事・報告・支援要求等）を身につける。	①個別の指導計画作成において、前期目標もしくは後期目標にコミュニケーションに関する目標を一人につき1個程度設定し、その評価が「達成」「ほぼ達成」となる割合が、60%以上となる。	①個別の指導計画作成において、前期目標もしくは後期目標にコミュニケーションに関する目標を一人1個～5個設定することができた。その評価について、前期では、「達成」「ほぼ達成」となる割合が、47%であった。
教務課	卒業後の生活を見据え、指導内容の精選を行うため、教育課程の実施状況を見直し、改善につなげる。	①それぞれの教育課程において、年間4回の検討を行う。 （教務課会2回・学部会2回） ②年度末に行う検討に向けて、全教員を対象としたアンケートを実施する。	①教務課会と学部会、それぞれ1回ずつ検討会を行った。 ②2月に実施予定。
環境課	ICT機器を活用した教育の推進を図るために、タブレットを使った授業の促進や情報モラルに関する教育活動を進める。	①就業体験のリモートでの施設実習でタブレット等を使った就業体験（現場実習）を行う。 ②長期休業中にリモート授業を年間2回以上実施する。 ③情報モラルに関する教材や動画のリストアップを作成し、全教員へ年1回以上広報する。 ④タブレットを使った授業等の中で、生徒へ情報モラルを盛り込んだ話を全教員年1回以上行い、年度末の情報モラルアンケートで全教員の6割以上が実施したと回答できる。	①パソコンを使用したリモートでの就業体験（現場実習）を6月に行った。後期就業体験（12月）にも実施予定。 ②夏季休業中に高等部2回、小中学部1回実施した。 ③夏季休業前後で情報モラルについてアナウンスしたが、教材等のリストアップはまだできていない。 ④情報モラルアンケートは、年度末に実施予定。
進路課	児童生徒一人ひとりの自尊感情の向上、支援を受けながらの自立を目指したキャリア教育（教育活動）の実践を行う。	①就労希望形態別の学習を年に10回以上行う。 ②中学部の「はたらく体験学習」の事前学習において、高等部の就業体験の意義や学校卒業後の働き方についての学習を行う。 ③③児童生徒の自尊感情を高めるために「命の大切さ」を学ぶ授業を1回以上行う。 ④④人権教育に関する資料を教員に年3回以上配布する。	①10月末時点で10回実施している。 ②1月末に実施予定。 ③11月22日に徳島県助産師会 小島泰代氏を招いて、いのちを守ることもサポート事業「いのちと心の授業」を行った。 ④9月14日に徳島県人権教育指導員 井上明美氏を招いて、「命（いのち）の安全教育」についてのPTA人権研修会を実施した。

重点課題3		地域とともにある学校づくり	
	重点目標	評価指標	評価指標による達成度
小 中 学 部	校外学習や交流及び共同学習を充実させることで、本校児童生徒の活動経験を高めると共に、地域への理解啓発を図る。	①クラス、及び学部での校外学習を年間5回以上実施する。	①コメリ買い物…5月？ B&G体験活動…7/18 小学部・中学部1年生…10/11 日和佐中学校との交流…11/20 工場見学…1月 美波町スタンプラリー…2月 お別れ遠足…2月
		②交流及び共同学習を4校(日和佐小学校・日和佐中学校・牟岐中学校・阿南支援学校)に対して、年間5回以上実施する。	②日和佐小学校1回(6/28) 日和佐中学校1回(11/20) 牟岐中学校2回(5/27・7/14) 阿南支援学校1回(7/6)
高 等 部	地域貢献活動を通して、社会性を養い、継続して地域とのつながりを持ち、地域への理解啓発につなげる。	①地域貢献活動を年間4回実施する。(6月、10月、12月、1月)	①6月に公民館、道の駅日和佐に花のプランターを設置し、薬王寺駐車場の清掃活動を行った。10月にお接待活動を行った。
		②地域貢献活動の活動内容について、生徒と一緒に考える機会を設定する。	②6月の活動実施後に、生徒に活動の振り返りと今後の活動についてアンケートを実施した。

支援課	<p>特別支援教育巡回相談員活動等を通して、地域のセンター的機能を充実させるとともに、本校の教育活動についてアピールする場を増やす。</p>	<p>①特別支援教育巡回相談員活動において、就学・進学に関する相談が昨年度(2件)より増える。</p> <p>②特別支援教育巡回相談員活動において、保護者面談や地域連携協議会で5回以上本校の概要説明を行う。</p> <p>③地域の教員や保護者、関係機関の方が50名以上参加する公開研修会等を計画する。</p> <p>④ホームページでの研修案内・報告を充実させること(更新3回以上)で、地域の方のホームページの閲覧機会を増やし、本校の教育活動について知ってもらうことに繋げる。</p>	<p>①現時点では、まだ就学・進学に関する相談の依頼がない。</p> <p>②保護者面談や地域連携協議会で本校の概要説明を4回行った。</p> <p>③「地域まるごと専門性向上」事業公開研修会(Zoom)において、校外から107名の参加があった。</p> <p>④「地域まるごと専門性向上」事業公開研修会(Zoom)の研修案内と実施報告の記事をアップし、2回更新した。</p>
生活課	<p>学校間交流等の交流および共同学習を通して、ひわさ分校の教育活動や児童生徒についての理解啓発を行う。</p>	<p>①地域の人や交流校に対して、本校の教育活動に関する啓発を行い、行事等において交流校の児童生徒等の来校者を増やす取り組みを行う。</p> <p>②生徒同士が主体的に交流が行えるように、全校集会を通じてコミュニケーションの幅を広げられるような指導を年間2回以上行う。</p>	<p>①交流校との事前打ち合わせを行ったり、運動会や文化祭の案内をホームページに掲載したり、地域の関係機関に運動会や文化祭のポスターを配布したりした。 運動会来校者：約50名 文化祭来校者：63名</p> <p>②全校活動において、ペアやグループに分かれゲームを行い、協力したり競ったりして自他を意識する活動を行った。また、交流校の紹介ビデオを見たり、交流の活動写真を見ながら振り返りを行った。年度末に交流で学んだことや気を付けることなどの話を行う予定。</p>